
慾の椅子

擘月 - ka「d/z」uki -

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

慾の椅子

【コード】

N3383M

【作者名】

嘩月・k a r d / z r u k i

【あらすじ】

.....

その軋む木製の椅子にて、小さく丸まり私はいる。
薄汚い私を踏み付けて、いつのまにか私は私となった。
凍飢した偽物を妄想で帰す。

多欲の脚。

醜く美しく人を彩る。

浅ましくも重要な、人を形作る塊。

私欲の脚。

貪り蹴落とす正しさ。

思うがままに強く欲す、それが私を救う道。

慾の椅子。

理性の板に座るが、他人の欲水が迫り、保身の為に欲を曝け出す。

食い破ればいい、恐れる事は無い。

私を開放する……。

偽物の私を欲の脚で刺し、他人の欲に沈める。

浮かんだ理性の上で、本当の偽物の私が鎮座している。

貪欲の脚。

抑圧出来ぬ本能。

欲を喰らい尽くす事が、欲を叶える方法。

大欲の脚。

とめどなく流れて延びる。
到達する毎に狂化、高みに渴望する。

慾の椅子。

心理を表していき、古ぼけた木製は脆く、重みや水で理性が腐って
いく。

床、天、闇、全て鎖されている。

私は獣……。

誰もが獣……。

欲。

本能の私から伸びるが、枷となり刺さる。
理性に封じられている。

その上に乗るもう一つの私。

欲水により木は腐り、私の不自然な重さで歪む。

椅子は音を立てて崩れ、本当の私が開放。

欲に守られ、欲を壊した。

私は欲の源の慾により、衝動に蠢く。

慾の椅子。

何処かで軋む。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3383m/>

慾の椅子

2010年10月11日12時06分発行